

令和5年6月12日
那賀川河川事務所

特定外来生物(植物)から河川堤防を守ります！

～特定外来生物(植物)の防除を実施～

近年、那賀川及び桑野川・派川那賀川の堤防において、特定外来生物(植物)であるオオキンケイギクやナルトサワギクの繁茂が顕著に見られるようになってきています。

特定外来生物は繁殖力が強く在来種の生息域を奪う他、野芝等の植被の減少による堤防法面の裸地化により堤防弱体化を引き起こす恐れがあります。

平成16年の外来生物法の制定以降、那賀川河川事務所では特定外来生物(植物)の繁茂状況を確認し、発見した場合は防除を実施しています。

【繁茂箇所】

・別紙をご確認下さい。

【防除実施状況】

ナルトサワギク繁茂状況



看板設置状況



防除完了後の状況



作業状況



【問い合わせ先】(◎主な問い合わせ先)

国土交通省 那賀川河川事務所

副 所 長

◎管理課長

TEL：0884-22-6592

FAX：0884-22-9795

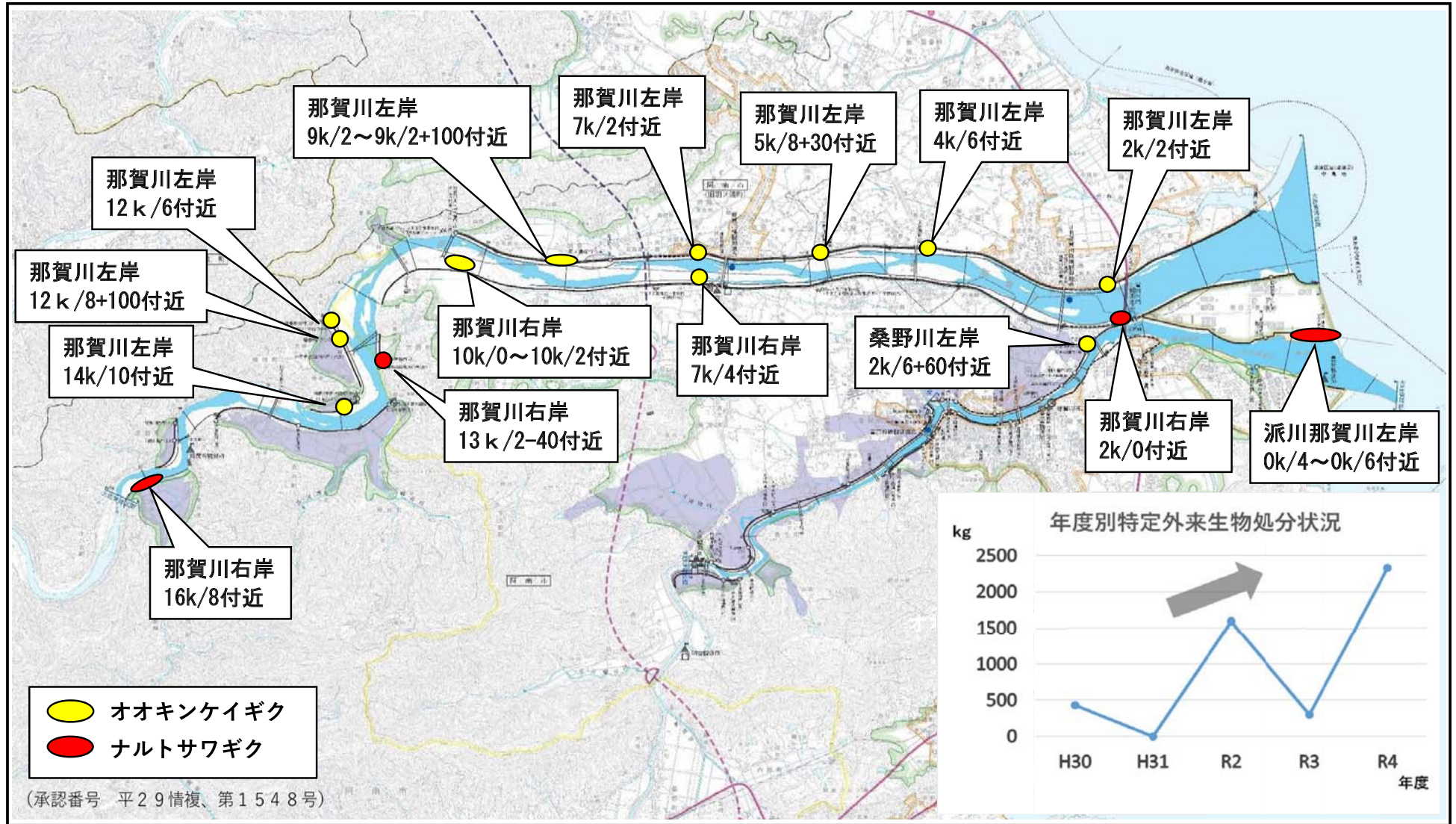
なかやま
中山
あさだ

まさと
雅登(内線204)

浅田

せいいち
聖一(内線331)

令和5年度 特定外来生物繁茂箇所 位置図（令和5年6月1日現在）



オオキンケイギク、ナルトサワギクの特徴

オオキンケイギク
 【学名】 *Coreopsis lanceolata*
 【科名】 キク科

草本



木下 賢



木下 賢

河原に広がっている様子

特定外来生物

よく生えている場所

河原、海岸、道ばたなどに生える。



背たけ・形

30~70cm
まっすぐ上にのびる。

生活型 多年草

姿・見わけ方

- 葉は地面の近くに集まってつき、両面に毛がある。
- 細長い茎の先に、大きさ5~7cmの花をつける。
- 大きく広がって生える。

花がさく時

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

被害・影響

まとまって生え、もともと日本にある植物の生える場所をうばうおそれがある。

どうやって来たの？

どのように 緑化・観賞用
どこから 北アメリカ
いつ 1880年代

ナルトサワギク 別名 コウベギク
 【学名】 *Senecio madagascariensis*
 【科名】 キク科

草本



木下 賢



木下 賢

河原に広がっている様子

特定外来生物

よく生えている場所

海辺のあれ地、河原などに生える。



背たけ・形

30~70cm
枝をはってのびる。

生活型 一年草または多年草

姿・見わけ方

- 葉の形はいろいろで、縁にぎざぎざがあるものが多い。
- 花は大きさ2~2.5cmで、あざやかな黄色。
- 日当たりのよいところで、大きく広がって生える。

花がさく時

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

被害・影響

日本に入ってきて間もないが、急に広がっており、もともと日本にある植物の生える場所をうばうおそれがある。茎や葉に毒があるため、牛や馬などが食べるとおなかをこわす。

どうやって来たの？

どのように 緑化種子に混じって
どこから マダガスカル島
いつ 1976年
どこで 徳島県鳴門市